

奈良県主催
「新しい奈良の工芸展」を開催
2017年11月2日（木）～2017年11月14日（火）

奈良の『伝統的な工芸品』と、その技術や精神を受け継ぎつつ
現代の感覚と独自の創造性により創作された『新しい工芸品』を展示します



陶磁



高山茶釜



神酒口



漆工芸

奈良県主催による、「伝統工芸品と現代工芸品」 をテーマにした初めての展示会

長い歴史の中、寺社と人々の生活と共に歩み、時代に応じて変遷してきた奈良の『素朴』な工芸品たち。今回は、奈良の『伝統的な工芸品』と、その技術や精神を受け継ぎつつ現代の感覚と独自の創造性により創作された奈良の『新しい工芸品』を展示します。伝統と創造性のコラボレーションを通じて、古から続く伝統と現代の「奈良」を感じてみてください。

伝統的な工芸品 〈工芸品名/工芸品御紹介ページ〉

- 高山茶釜 <http://www.pref.nara.jp/1381.htm>
- 奈良筆 <http://www.pref.nara.jp/1382.htm>
- 赤膚焼 <http://www.pref.nara.jp/1383.htm>
- 奈良晒 <http://www.pref.nara.jp/1386.htm>
- 吉野手漉き和紙 <http://www.pref.nara.jp/1384.htm>
- 三方(宝) <http://www.pref.nara.jp/1392.htm>
- 笠間藍染 <http://www.pref.nara.jp/1396.htm>
- 神酒口 <http://www.pref.nara.jp/1393.htm>
- 高山茶道具 <http://www.pref.nara.jp/1397.htm>
- 奈良一刀彫 <http://www.pref.nara.jp/1398.htm>
- 奈良墨 <http://www.pref.nara.jp/1400.htm>

新しい工芸品 〈工芸品名/作家名〉

- 赤膚焼 / 大塩 昭山
- 奈良一刀彫 / 東田 茂一
- 磁器 / 土井 雅文
- 漆工芸 / 杉村 聡
- 吉野杉家具 / 森 幸太郎

◆奈良の伝統工芸品◆

かつて奈良に都が置かれ、文化の発展とともに優れた工芸品の需要が多く、制作が盛んに行われていました。その歴史が精緻な技の造形や奈良らしいモノづくりに結びつき、現在まで伝えられています。<http://www.pref.nara.jp/1366.htm>

—開催概要— 新しい奈良の工芸展

- 会 期：2017年11月2日（木）～2017年11月14日（火）
10：30 - 19：00 /最終日は17：00迄 水曜定休 入場無料
- 会 場：monova gallery
場 所：東京都新宿区西新宿3-7-1
リビングデザインセンターOZONE 4階
- 主 催：奈良県